

障がいのある方の雇用に取り組む

株式会社大槻シール印刷(京都市南区)

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容

シール・ラベル・ステッカー等の印刷・販売

【障がいのある方が従事している仕事】

印刷機のオペレーター、包装補助業務

【障がい者雇用のきっかけ】

15年位前に、京都中小企業家同友会の障がい者問題委員会の勧めで、京都聾学校から実習生を受け入れ、経験を積みながら雇用に至りました。

現在、2名の方が働いています。精神障がいのある方が10年目で印刷機のオペレータを、知的障がいのある方が5年目で包装補助業務を担っています。



【雇用しての貴重な経験】

- ・個人的な事情で退職されましたが、聴覚障がいと知的障がいの重複障がいの方が10年間働いていました。
- ・コミュニケーションは口話で、ゆっくりと話し、読唇されました。アトピー性のアレルギーもある方でしたが、両親の病気への理解が不十分で休むようになりました。どうか説得し、治療を受けてもらい休まなくなり、伝票作成や印刷の準備作業を担当できるようになりました。
- ・会社としてどこまで踏み込むのか、悩ましいことですが、家庭任せにできない以上、病院と連携し働けるようにすることが、障がい者の自立にとって重要なことだと学びました。

【2名の障がい者を受け入れて】

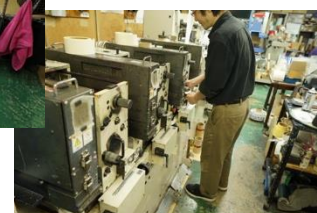
精神障がいの方は、真面目で寡黙な方ですが、自分では決められないところがありました。

体調は安定しているのに、「やり遂げなければ」と過度に思い、自分で100点と思うまで作業をやり続けていたので、細かくチェックして指示しなければなりません。

極力プレッシャーにならないように仕事の与え方を工夫し改善してきました。

知的障がいの方は、繰り返しの作業を根気よくしてくれます。使う機械の購入補助も受けられました。

障がいのある方と働く中で、互いにカバーする風土が社員の中に生まれました。周りの社員の対応や言葉が優しいこともプラスになっています。日帰り旅行やバーベキュー、滋賀工場との交流などにも参加しています。



令和2年4月取材